

平成
26
年度

新機械導入による素材の持ち味を活かした ジーマーミ豆腐の生産性向上

企 業
データ

ひろし屋食品株式会社

■所在地:〒900-0003 沖縄県那覇市安謝617-49 ■代表者:代表取締役 糸数 力也
 ■TEL:098-863-0421 ■FAX:098-863-0487 ■URL: <http://www.hiroshiya.co.jp/>
 ■設立年:昭和48年 ■資本金:1,000万円 ■従業員数:30人 ■業種:食料品製造業



代表取締役 糸数 力也

経緯

当社のジーマーミ豆腐は商品化から約35年に渡りお客さまからご指示いただいているロングセラー商品である。当初は製造過程で落花生の薄皮除去と手詰め作業にかなりの時間を要し、1日の生産量は300個が限界だったが現在はスタッフも増え、約10年前に導入した充填機と自動包装機によって1日1,200個まで生産可能となった。しかし昨今、沖縄で開催される大規模商談会において県外大手量販店から大量発注の打診を受けるも現在の生産量では到底対応できず、販売機会拡大のチャンスを逃している。さらにお客さまから紅芋やチョコといった新たな嗜好品の要望があるものの新商品開発を手掛ける人員も時間もない状況である。そこで本事業では、作業効率の大幅改善とそれによって生まれる余剰時間を、現状で対応しきれない量産体制と新商品開発に充てることを目指し、新たな機械設備を導入した。

成果

「脱皮機」は手作業の薄皮除去では1缶当たり時間は60分、水の使用量が100ℓかかっていたものが機械導入後は20分・50ℓとなった。時間で66%の短縮、水量は約半分となり節水対策にも繋がった。「間欠包材器」においては、旧機種は四角カップのみにしか対応できなかったが新機種は四角と丸の両方に対応可能に。以前は型枠の交換作業だけで90分もかかりタイムロスとなっていたものが、現在は取り替え作業がなくなり、ボタンひとつで四角カップと丸カップが手軽に選択できることから連続包装も可能となりタイムロスも改善された。

今後の展望

本事業で購入した機械により生産量の増加が図れ、それに伴い売り上げも順調に伸長。昨夏には日本全国のワシントンホテルで3カ月に渡り開催された「沖縄フェア」の朝食用商材として納入することができた。今後は一過性の納入ではなく定番品として納入できるよう、学校給食や大型スーパーなども視野に入れ販路を広げていきたい。また、補助事業のもうひとつの命題であった新商品開発は試作するも納得できるレベルには至っていないため、今後はさらに試作品づくりにも積極的に注力していきたい。

事業内容

機械導入から1年半が経過。当初の実験では脱皮も上手くいったが、作物(落花生)は毎年サイズが異なることから脱皮機はフル稼働に至っていない。人手と時間が確保できないこともあり思うように実験に取り組みず現在模索中である。間欠包装機は稼働中である。



落花生の皮をむくロール式脱皮機



角型・丸型両方に対応可能な間欠包装機